

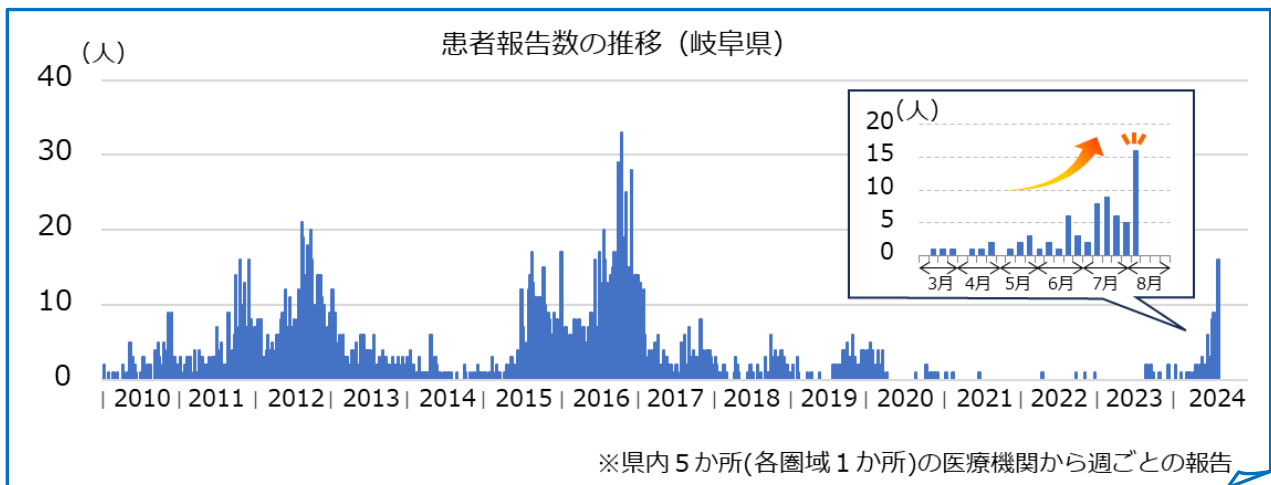
ぎふ感染症かわら版



令和6年8月15日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

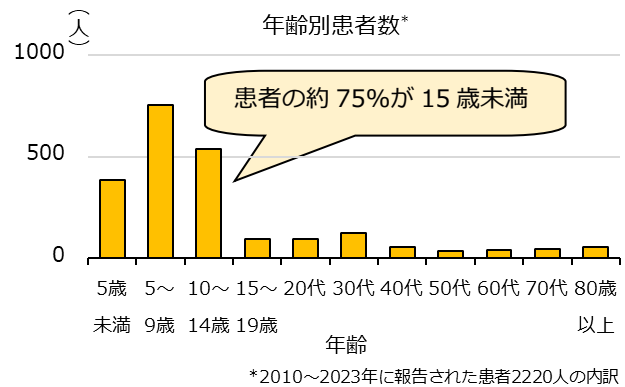
マイコプラズマ肺炎が流行する兆候があります。

マイコプラズマ肺炎は3年から7年程度の間隔で大きな流行が起こる感染症で、その患者報告数が今年6月くらいから徐々に増加しています。流行が始まると終息までに比較的長い時間がかかる傾向がみられ、岐阜県では2011～2012年と2015～2016年に流行が続きました。感染は飛沫や手指を介して起こるため、こまめな手洗いや患者との濃厚接触を避けること、また咳の症状がある場合はマスクの着用や咳エチケットが有効です。



主な症状と注意点について

主な初期症状は、発熱や全身のだるさ、頭痛であり、その後、咳が出はじめます。感染する年代は15歳未満が中心であり、濃厚接触により感染すると考えられています。そのため、家庭内や学校などで感染が広がる可能性があるため注意してください。



主な予防対策について

- こまめな手洗いを行う
- 咳などの症状がある場合は、**マスクの着用や咳エチケット**を行う
- 有症者との濃厚接触を避ける



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

